

試験日 : 2025 年 9 月 13 日 (土)  
入試種別 : 大学院入学試験(4 月入学)修士課程 秋期試験  
学部・研究科 : 社会学研究科 社会学専攻 社会学コース  
科目名 : 社会学概論

解答又は解答例

1

A 群・B 群・C 群からそれぞれ 1 つを選び、その意味を 100 字以上で説明する設問である。下記は各群から 1 語を選んだ場合の解答例であり、選択した語が当該概念の趣旨に沿って正確かつ簡潔に説明されていればよい。

(1) 3

感情労働とは、仕事上求められる感情表現に合わせて、自分の感情や表情、声の調子などを管理する労働を指す。接客、看護、教育、介護などの対人サービス職で典型的に見られ、単に作業を行うだけでなく、相手に安心感や満足感を与えるために感情を調整する点に特徴がある。

(2) 10

ネオリベラリズム（新自由主義）とは、市場原理、競争、規制緩和、民営化、自己責任を重視する思想や政策の方向性を指す。国家の役割を縮小し、市場を通じた効率化を進める一方で、雇用の不安定化、格差の拡大、福祉や教育への競争原理の導入などをめぐって批判される。

(3) 14

相関係数は、二つの変数の間にどの程度の直線的な関連があるかを示す記述的な指標である。ただし、相関があることは、一方が他方の原因であることを直ちに意味しない。第三の変数による疑似相関、逆方向の因果、偶然の関連などの可能性があるため、因果関係を主張するには研究設計や分析上の条件を検討する必要がある。

2

本問は解答が一義的ではなく、特定の解答例を作成することが困難であるため、以下を採点又は評価のポイントとする。

- AI や生成系技術が影響を与える領域として、教育、労働、日常生活などのうち、特定の領域を明確に設定しているか。

- AI の普及がもたらす可能性と課題を、具体例を挙げながら論理的に整理しているか。たとえば、教育における学習支援、労働における業務効率化、日常生活における情報アクセスの拡大などの可能性と、格差の拡大、技能や雇用の変化、監視、個人情報、責任の所在の不明確化などの課題を関連づけて論じていることが望ましい。
- 単なる技術紹介や一般的な感想ではなく、社会学的な視点から論じているか。具体的には、AI の普及を既存の社会構造、制度、階層、ジェンダー、労働市場、学校教育、家族背景、相互行為などとの関係で捉えていることを評価する。
- AI の影響がすべての人に同じように及ぶのではなく、利用環境、知識、経済的資源、組織内の立場などによって異なる可能性に言及できていれば、より高く評価できる。

全体として、AI を一面的に肯定または否定するのではなく、可能性と課題の両面を踏まえ、社会学的な概念や視点をを用いて具体的かつ一貫した論述ができている答案を高く評価する。

### 3

本問は受験者自身の研究計画を問うものであり、解答が一義的ではないため、以下を採点又は評価のポイントとする。

- 研究課題の概要、すなわち何を明らかにしたいのかという問いが具体的に示されているか。単に関心のあるテーマを述べるだけでなく、どのような社会現象について、どのような問いを立てるのが明確であることが望ましい。
- その研究課題を、どのような社会学的視点から明らかにするのが説明されているか。社会階層、ジェンダー、家族、地域、教育、労働、メディア、移民、福祉、逸脱、組織、社会意識などの観点から、個人の経験や意識を社会構造や制度との関係で捉えようとしていることを評価する。
- 研究方法について、質問紙調査、既存統計・二次データ分析、インタビュー調査、参与観察、文献研究などのうち、研究課題に対応した方法が選択されているか。方法の名称を挙げるだけでなく、対象、データ、分析の進め方、実現可能性について説明できていることが望ましい。
- 学問的意義と社会的意義が示されているか。学問的意義としては、先行研究で十分に明らかにされていない点を補うこと、既存の理論や概念を検討することなどが考えられる。社会的意義としては、現代社会の課題の理解、制度や支援の改善、当事者や実践現場への示唆などが考えられる。

全体として、研究課題、社会学的視点、方法、意義の間に一貫性があり、大学院修士課程で取り組む研究計画として具体性と実現可能性を備えている答案を高く評価する。